

【平成 21 年 4 月から平成 30 年 7 月までに外科にて胆嚢癌の手術治療を受けられた患者さん、及びご家族の方へ】

当研究の対象者として該当される方にお知らせ致します。対象とされることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、お手数ですが下記連絡先までご連絡ください。

【研究タイトル】

『胆嚢癌疑診例^{*1} に対する肝十二指腸間膜リンパ節^{*2} 郭清は必要か-12c リンパ節^{*2} のセンチネルリンパ節^{*3} としての意義-』

- *1: 胆嚢癌疑診例とは、画像検査を含めた諸検査で癌の確定診断はつかないものの癌の可能性が完全には否定できない様な症例のことです。
- *2: 肝十二指腸間膜リンパ節とは、肝臓や胆嚢を栄養する血管周囲の組織に存在するリンパ節のことです。12c リンパ節はそのリンパ節の 1 部分のことです。
- *3: センチネルリンパ節とは、癌のリンパ節転移の際に一番最初に転移するリンパ節のことです。

【研究背景・目的】

【背景】 進行胆嚢癌の手術成績は未だ不良ですが、限局した癌では根治切除により治癒が期待できます。当科ではその様な胆嚢癌の根治術式として拡大胆嚢摘出術（胆嚢摘出+胆嚢床切除）+所属リンパ節郭清を基本としてきました。胆管切除は胆管浸潤症例や胆嚢管断端陽性症例に施行していますが、胆管を温存したリンパ節郭清では虚血による胆管狭窄のリスクがあるのも事実です。一方で近年では各種画像診断の進歩に伴って胆嚢癌疑診例も増加しており、如何なる症例に肝十二指腸間膜リンパ節郭清まで行うかの適応は不明瞭です。胆嚢癌疑診例の術式決定にはセンチネルリンパ節の可能性のある 12c リンパ節転移の有無が重要と考えられますが、胆嚢癌における 12c リンパ節転移の意義は未だ明らかではありません。

【目的】 胆嚢癌における 12c リンパ節転移の意義を明らかにすることです。

【研究期間・取得情報】

- ・研究期間は、倫理委員会承認後から平成 31 年 4 月 20 日です。

- ・対象：平成 21 年 4 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日までに外科にて胆嚢癌の手術の治療を受けた患者さん
- ・取得情報：年齢、性別、手術情報、生存情報、画像検査、採血結果、病理組織診断結果

【個人情報の取扱い】

研究の際の個人情報の取り扱いは、研究責任者により厳重に管理され、外部への研究発表の際には患者さん個人を特定する情報は含まないようにして行います。

研究の対象となることを望まない旨の申し出があった場合には、ただちに研究対象から除外します。なお、匿名化（データの識別のために個人を特定できる情報を番号・記号等に置き換えること）を行った後の患者さんの情報については、研究から除外できない場合もありますのでご了承下さい。

【診療記録(カルテ)等の開示について】

当院は、研究に使用しました患者さんの診療記録等について、患者さんが開示を求められた場合には、遅滞なく内容を確認し、当院の「患者情報の提供等に関する指針」に従って対応いたします。当院の診療記録等に関してのご質問や患者さんの個人情報のお問い合わせは、下記、「問い合わせ先」にてお受けいたします。

- ・診療記録を複写・印刷する場合の料金：枚数×20 円＋消費税

【研究組織】

研究責任者：飯塚病院 外科 外科統括部長 梶山 潔

【問い合わせ先】

飯塚病院 外科 診療部長 萱島 寛人

〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町 3-83

TEL：0948-22-3800（代表）